

第14期末（2018年8月31日）	
基準価額	18,975 円
純資産総額	13,092 百万円
第14期	
騰落率	6.2%
分配金（税込）合計	0 円

(注1) 基準価額は1万円当たりで表示しています。
(注2) 純資産総額の単位未満は切り捨て表示しています。
(注3) 騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております。

- 投信法の改正により、2014年12月以降、従来の運用報告書に代えて交付運用報告書を交付することと変更されております。
- 本交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、ありがとう投信株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、右記お問合せ先までお問い合わせください。

【運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法】
右記ホームページにアクセス頂き、「ありがとうファンド」－「運用状況・レポート」－「運用報告書」とお進みください。

ありがとうファンド

（愛称：『ファンドの宝石箱』）
追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第14期（決算日 2018年8月31日）

作成対象期間：2017年9月1日～2018年8月31日

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆様の「ありがとうファンド」は、2018年8月31日に第14期の決算を行いました。第14期も当ファンドは、長期国際分散投資で世界経済及び企業の成長を享受すべく投資先を厳選して運用を行って参りました。

ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。



ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.

東京都千代田区内神田 2-15-9 The Kanda 282
ホームページ <https://www.39asset.co.jp>

◆お問合せ先

ありがとう投信株式会社

TEL. 0800-888-3900（フリーコール）

受付時間：8:30～17:30（土日祝日を除く）

お客様へのメッセージ

長谷 俊介（代表取締役社長）

おかげさまでありがとうございますファンドは8月末で第14期決算を迎えることができました。これもひとえに皆さまのご支援のおかげであると感謝しております。誠にありがとうございます。

この1年間で振り返ってみますと色々なことがございました。昨年12月には、本社を創業以来13年間お世話になった台東区上野より千代田区内神田に移転いたしました。今年の4月には、「R&Iファンド大賞2018」において優秀ファンド賞を初受賞することができました。今回の受賞については、地道に進めてきた運用の改善、投資対象の追加・見直しの成果が徐々に発揮されてきたものと考えております。

また、運用においては、新たな投資先ファンドとしてブラックロックの金ETFおよびアバディーン・スタンダード・インベストメンツの北米小型株式ファンドを加えてダウンサイドリスクを抑えながら、安定した運用パフォーマンスを目指して運用して参りました。その結果、皆さまのありがとうございますファンドは前期比6.2%上昇し、純資産総額は約7億円増加して130億92百万円になりました。今後も長期的な資産の成長を目指して国際分散投資を行って安定した運用パフォーマンスの提供を目指して参ります。

弊社はこれからもお客様のご期待に応えられるように役職員一同精進して参りますので、引き続きご愛顧の程何卒よろしくお願い申し上げます。

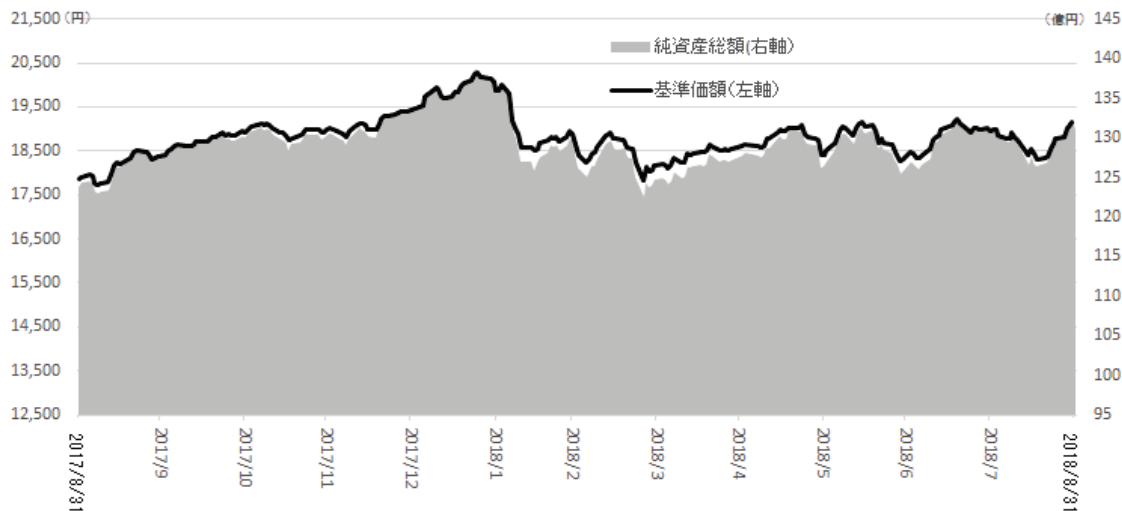
真木 喬敏（ファンドマネージャー）

リーマンショックから10年が経とうとしています。その影響は米国市場のみならず、欧州危機など世界経済に様々な影響を与えました。そういった悪循環を断ち切るために、主要国政府は様々な金融緩和を駆使して、経済の安定を図ってきました。こういった金融緩和に支えられた結果、経済成長期間は過去最長に手が届きそうな勢いです。流石にマーケットでは次の景気後退はいつかと懸念を強めているところで、長く続いた経済成長の反動は大きくなるのでしょうか？それは誰にもわからないと思います。

よくお客様から、『いつ買って、いつ売ればいいのか？』と質問をいただきます。タイミングほど難しいものはありません。大切なことは、やめないこと。マーケットに居続けることだと思います。リーマンショック後、株式市場は暴落し、多くの方がパニックになり、底値近くでファンドを売却されました。一方、保有・積立を継続された方の資産は足元2倍以上になっています。売買のタイミングがわからないからこそ、『いつ買って』は積立で、『いつ売って』は資金が必要な時がベストだと思います。投資にリスクはつきものです。北朝鮮問題、貿易摩擦、その他地政学リスク等、足元色々ありますが、今にはじまったことではありません。ありがとうございますファンドの投資先ファンドが保有している銘柄の多くはこれから長期で必要とされるであろう商品・サービスを提供している企業です。たとえ短期的に株式市場が冷え込むことがあったとしても、人々の生活はそう大きくは変わりません。こういう時だからこそ、じっくり長期投資で資産形成を続けるべきだと思います。エラそんな事を言いましたが、私自身もありがとうございますファンドの保有者ですので、受益者の皆様と同じ気持ちで日々鍛錬し、運用に努めたいと思います！

運用経過のご説明

○当期中の基準価額等の推移 【2017年9月1日～2018年8月31日】



期 首	期 末	既払分配金	騰落率
17,859 円	18,975 円	0 円	6.2%

(注1) 当ファンドにベンチマークはありません。

(注2) 分配を行っておりませんので分配金再投資基準価額は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

当期は、投資先ファンドのニッポンコムジェスト・エマージング・マーケット・ファンドS A/95 (適格機関投資家限定)、アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・エクイティ、アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マルチアセット・ポートフォリオ、i シェアーズ ゴールド・トラスト (金E T F) ファンドを除いたすべての投資先ファンドが当ファンドの基準価額上昇に貢献しました。主な投資先がエマージング諸国市場の3ファンドについては、米中貿易摩擦懸念による影響もあり、総じて低調なパフォーマンスになり、当ファンドの基準価額上昇に貢献することはできませんでした。

最も基準価額の上昇に貢献したのはアライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオファンドで、二番目に貢献したのはキャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカファンドでした。両ファンドだけで当ファンドの今期中上昇分の半分以上の貢献をしました。両ファンドに共通するところは主な投資先が米国株式という点です。トランプ政権の大規模減税などにより、米国内の景況感がさらに上振れした事で株価も堅調に推移しました。特に AB アメリカン・グロースファンドはアクティブファンドとして市場平均を大きく上回るパフォーマンスを実現しました。

〇1 万口当たりの費用明細

(2017 年 9 月 1 日～2018 年 8 月 31 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	183 円	0.972%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は 18,818 円です。
(投信会社)	(122)	(0.648)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(41)	(0.216)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(20)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託受益証券)	(0)	(0.002)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.001	(c) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(その他)	(0)	(0.001)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用及び金銭信託に係る手数料
合計	183	0.975	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

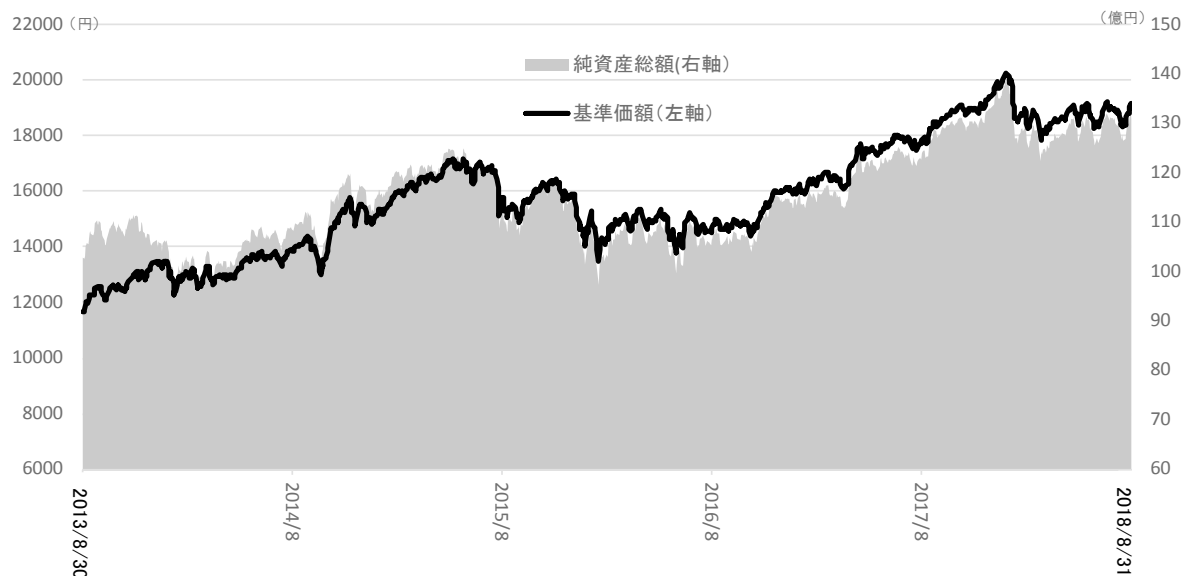
(注2) 各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

○最近5年間の基準価額等の推移

(2013年8月31日～2018年8月31日)



	2014年 9月1日決算日	2015年 8月31日決算日	2016年 8月31日決算日	2017年 8月31日決算日	2018年 8月31日決算日
基準価額 (円)	13,818	15,772	14,686	17,859	18,975
期間分配金合計 (税込) (円)	—	—	—	—	—
基準価額の騰落率 (%)	18.6	14.1	－6.9	21.6	6.2
純資産総額 (百万円)	10,825	11,337	10,667	12,385	13,092

(注1) 当ファンドの運用方針に適当な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を併記しておりません。

(注2) 当ファンドは分配金を出しておりませんので、分配金再投資基準価額の騰落率は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

○投資環境 (2017 年 9 月～2018 年 8 月)

当期の世界株式市場は、期初から 2017 年年末にかけては米国の税制改革実現への期待などから総じて上昇する相場でした。さらに税制改革法案の成立した 12 月後半から 1 月半ばまでは急ピッチで世界株式市場は上昇しました。しかしながら、2017 年は一本続きで上昇相場だったこと、年初からの急ピッチで上昇したこと、さらに米国の短期金利上昇による長短金利の逆ザヤによる景気後退が懸念され、2018 年 1 月後半に世界株式市場は大きく調整しました。その後は期末にかけて米国を中心とする貿易摩擦が意識され、米国以外の株式市場では年初の高値を更新できずにやや調整・横ばい相場が続きました。一方米国は減税による企業利益の上昇なども見られ、米国株式市場の一人勝ちが継続しました。

日本では、世界株式市場同様 1 月までは上昇、その後横ばい相場が続きました。特に期前半の衆議院与党圧勝で日経平均株価が 16 連騰するなど、1 月後半の調整相場に入るまでは主要国株式市場で最も上昇しました。しかしその後の反動も大きく、さらには国会で森友学園問題の追及が続き安倍内閣の支持率が急落し、アベノミクスの継続性への疑問が呈されたことにより、調整・横ばい相場が続きました。

米国では、2018 年 1 月に世界株式市場同様調整こそしましたが、期を通してみると安定的に上昇した相場でした。

欧州では、期序盤から中盤にかけて他国・地域株式市場が大きく上昇する中、なかなか上昇しきれない相場感が続きました。特に 10 月スペインのカタルーニャ州の独立を問う住民投票等などの報道や、急激なユーロ高による輸出業の業績へ対する影響などが懸念され、出遅れる形になりました。1 月の調整後も、5 月にイタリア再選挙の可能性が報じられるなど、上値が重い市場環境が続きました。

新興国では、特に 3 月ごろから他国・地域株式市場とは異なる値動きが目立ちました。トランプ大統領が鉄鋼アルミニウムの輸入制限を発動する方針を発表したこと、中国に対して知的財産権を侵害しているとして関税を課す大統領令に署名したことなどをはじめに両国間の貿易摩擦激化が懸念されるようになり、中国関連銘柄はもちろん、新興国株式市場全体が冷え込む原因になりました。

○当ファンドのポートフォリオ

当ファンド全体の信託報酬を下げるべく信託報酬が安くかつ優れた運用パフォーマンスを有するファンドへのスイッチングを進めました。

ヨーロッパ株式市場担当ファンドについて、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA/90（適格機関投資家限定）を信託報酬が半分以下のアライアンス・ユーロランド・エクイティ・グロースファンド、アライアンス・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクトファンドへスイッチングを進めました。

エマージング諸国株式市場担当ファンドについて、ニッポンコムジェスト・エマージング・マーケット・ファンドSA/95（適格機関投資家限定）をアライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオファンドへスイッチングを進めました。

また、米国株式市場担当ファンドについて、キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカファンドを米国の大型成長銘柄選定に定評のあるアライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオファンドと北米の小型成長銘柄選定に定評のあるアバディーン・グローバル・ノースアメリカン・スモラーカンパニーズファンドへスイッチングを進めました。

（参考情報）前期末とのファンド組入比率の比較

ファンド名	13期末 組入比率	当期末 組入比率
アライアンス・バーンスタイン SICAV I-エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ	10.8%	17.4%
アライアンス・ユーロランド・エクイティ・グロース	-	16.5%
アライアンス・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト	10.4%	13.3%
アライアンス・バーンスタイン SICAV I-アメリカン・グロース・ポートフォリオ	8.0%	10.9%
アライアンス・バーンスタイン SICAV I-エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ	10.3%	10.1%
アバディーン・グローバル・ノースアメリカン・スモラーカンパニーズ・ファンド	-	9.5%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	6.2%	7.3%
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA/90(適格機関投資家限定)	19.6%	4.3%
キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ	17.6%	3.1%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA/95(適格機関投資家限定)	13.6%	3.0%
ジェアーズ ゴールド・トラスト	-	1.5%
組入ファンド数	8	11

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。 (注3) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA/90（適格機関投資家限定）とニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA/95（適格機関投資家限定）の2ファンドについては、期中に信託報酬が安くなった同じマザーファンドに投資するコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90（適格機関投資家限定）、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95（適格機関投資家限定）へスイッチングしております。当期末時点の組入比率はそれぞれ90ファンドと95ファンドの組入比率になります。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に適当な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマーク（参考指数）との対比グラフは表示していません。

○分配金

基準価額の水準、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き分配無しとさせていただきました。なお、分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用方針に基づいて運用いたします。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

第 14 期 (2017 年9月1日～2018 年8月 31 日)	
当期分配金 (対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,303

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、リスクを抑えながら資産の長期的な成長を目指す投資方針を続けて参ります。日本に限らず世界で活躍する成長企業の成長性を享受できるよう引き続き国際分散投資を徹底いたします。また、丹念な企業調査に基づく伝統的な運用スタイルのファンドを厳選選別し組み入れていくことで、リスクを抑制いたします。

お知らせ

当期中の約款変更について

当期中に実施した約款変更は以下の通りです。

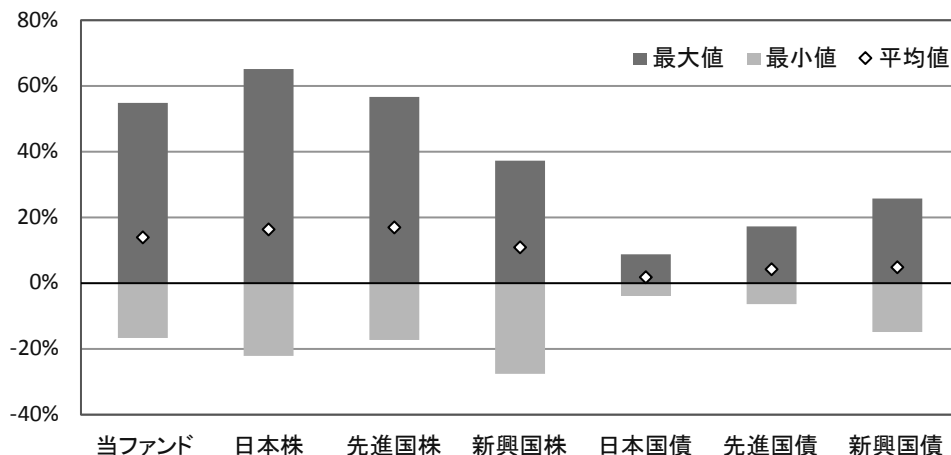
- ① 2017年11月30日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。
- ② 2018年5月31日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	当ファンドは、投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資を行ない、信託財産の成長を計ることを目標として運用を行ないます。
主 要 運 用 対 象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
運 用 方 法	運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。 短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。
分 配 方 針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。（分配を行わないこともあります。）分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2013年9月末～2018年8月末)



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	54.8	65.0	57.1	37.2	9.1	17.6	25.9
最小値	-16.5	-22.0	-17.5	-27.4	-3.9	-6.6	-14.9
平均値	14.0	16.6	16.9	10.9	2.1	4.4	4.9

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2013年9月～2018年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

【各資産クラスの指数】

日本株 : TOPIX 配当込み指数

先進国株 : MSCI Kokusai(World ex Japan)Index

新興国株 : MSCI EM(Emerging Markets)Index

日本国債 : ブルームバーク・バークレイズ・グローバル国債 : 日本インデックス

先進国債 : ブルームバーク・バークレイズ・グローバル国債 : G7インデックス (ヘッジなし円ベース)

新興国債 : ブルームバーク・バークレイズ新興市場自国通貨建て国債インデックス (ヘッジなし円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※上記指数はファクトセットより取得しています。

※代表的な資産クラスの騰落率はファクトセットのデータベースをもとに、ありがとう投信株式会社が計算しています。

TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

ブルームバークは、ブルームバーク・ファイナンス・エル・ビーの商標およびサービスマークです。

バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。

ブルームバーク・ファイナンス・エル・ビーおよびその関係会社(以下「ブルームバーク」と総称します。)またはブルームバークのライセンサーは、ブルームバーク・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

当ファンドのデータ

○組入資産の内容

(2018年8月31日現在)

組入ファンド	組入比率
アライアンス・バーンスタイン SICAV Iーエマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ	17.4%
アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース	16.5%
アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト	13.3%
アライアンス・バーンスタイン SICAV Iーアメリカン・グロース・ポートフォリオ	10.9%
アライアンス・バーンスタイン SICAV Iーエマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ	10.1%
アパディーン・グローバル・ノースアメリカン・スモール・カンパニー・ファンド	9.5%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	7.3%
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA/90(適格機関投資家限定)	4.3%
キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ	3.1%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA/95(適格機関投資家限定)	3.0%
シェアーズ ゴールド・トラスト	1.5%
その他(短期金融資産等)	3.2%
組入ファンド数	11銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

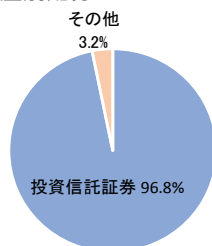
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては運用報告書(全体版)に記載されております。

(注3) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

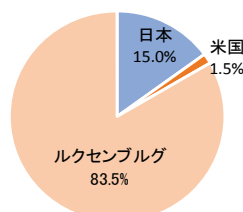
(注4) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

(注5) ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA/90(適格機関投資家限定)とニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA/95(適格機関投資家限定)の2ファンドについては、期中に信託報酬が安くなった同じマザーファンドに投資するコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95(適格機関投資家限定)へスイッチングしております。当期末時点の組入比率はそれぞれ90ファンドと95ファンドの組入比率になります。

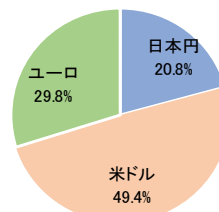
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分(発行国基準)の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

○純資産等

項 目	第 14 期末
	2018年8月31日
純 資 産 総 額	13,092,322,481 円
受 益 権 総 口 数	6,899,803,129 口
1 万口当たり基準価額	18,975 円

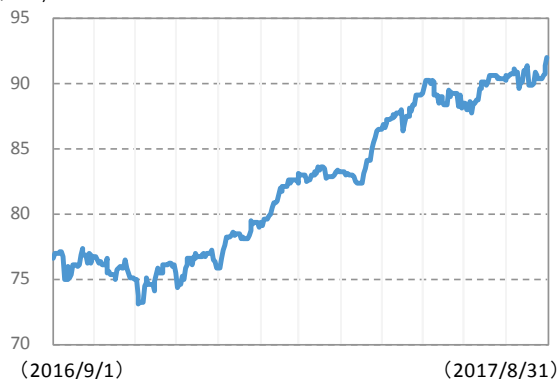
(注) 期中における追加設定元本額は400,547,680円、同解約元本額は435,699,335円です。

○組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン SICAV I アメリカン・グロース・ポートフォリオ

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

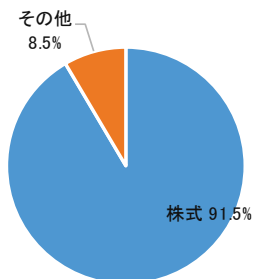
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.70%

◆組入上位 10 銘柄

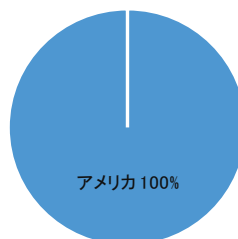
(2017 年 8 月 31 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	Alphabet, Inc.	米ドル	アメリカ	8.2%
2	Facebook, Inc. - Class A	米ドル	アメリカ	7.5%
3	Visa, Inc. - Class A	米ドル	アメリカ	5.5%
4	Apple, Inc.	米ドル	アメリカ	5.0%
5	UnitedHealth Group, Inc.	米ドル	アメリカ	4.3%
6	Home Depot, Inc.	米ドル	アメリカ	3.7%
7	Edwards Lifesciences Corp.	米ドル	アメリカ	3.6%
8	Intuitive Surgical, Inc.	米ドル	アメリカ	3.5%
9	Xilinx, Inc.	米ドル	アメリカ	3.5%
10	Zoetis, Inc.	米ドル	アメリカ	3.5%

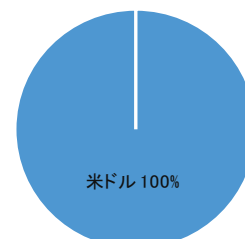
◆資産別配分



◆国別配分



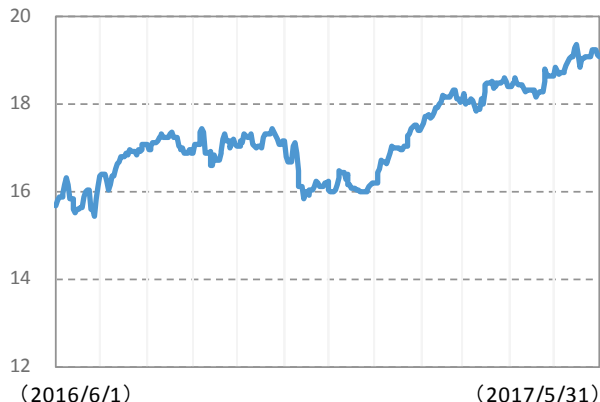
◆通貨別配分



アライアンス・バーンスタイン SICAV I エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

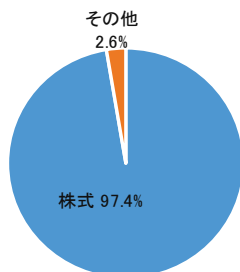
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.85%

◆組入上位 10 銘柄

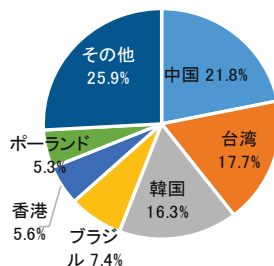
(2017 年 5 月 31 日現在)

	銘柄名	国/地域	投資比率(%)
1	Samsung Electronics Co., Ltd.	大韓民国	5.2%
2	Erste Group Bank AG	オーストリア	3.2%
3	KB Financial Group, Inc.	大韓民国	3.2%
4	OTP Bank PLC	ハンガリー	3.2%
5	Powszechny Zaklad Ubezpieczen SA	ポーランド	3.0%
6	Itausa – Investimentos Itau SA	ブラジル	2.8%
7	Hon Hai Precision Industry Co., Ltd.	台湾	2.7%
8	Jardine Strategic Holdings Ltd.	香港	2.5%
9	Quanta Computer, Inc.	台湾	2.5%
10	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	台湾	2.4%

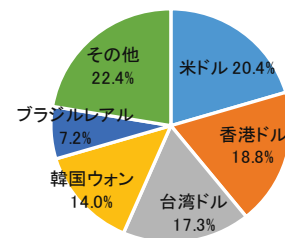
◆資産別配分



◆国別配分



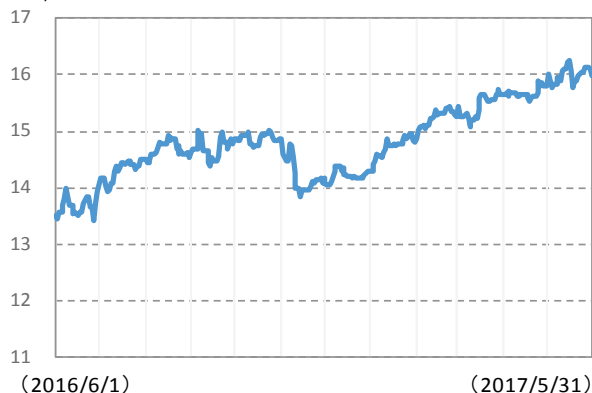
◆通貨別配分



アライアンス・バーンスタイン SICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

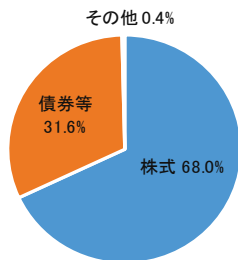
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.80%

◆組入上位 10 銘柄

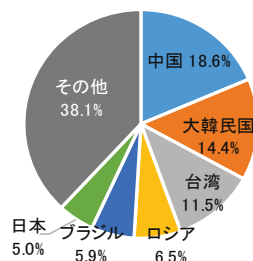
(2017 年 5 月 31 日現在)

	銘柄名	国/地域/種別	投資比率(%)
1	Marubeni Corp.	日本	3.1%
2	Kingboard Chemical Holdings Ltd.	香港	2.4%
3	Woori Bank	大韓民国	2.1%
4	Hana Financial Group, Inc.	大韓民国	2.1%
5	KB Financial Group, Inc.	大韓民国	2.0%
6	Brazil Notas do Tesouro Nacional Series F 10.00%	ブラジル国債	1.9%
7	Turkiye Is Bankasi - Class C	トルコ	1.9%
8	Yangzijiang Shipbuilding Holdings Ltd.	中国	1.8%
9	Samsung Electronics Co., Ltd.	大韓民国	1.6%
10	MOL Hungarian Oil & Gas PLC	ハンガリー	1.5%

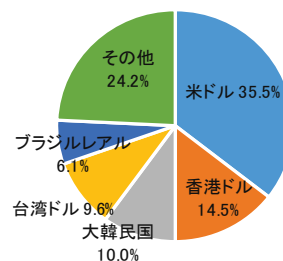
◆資産別配分



◆国別配分



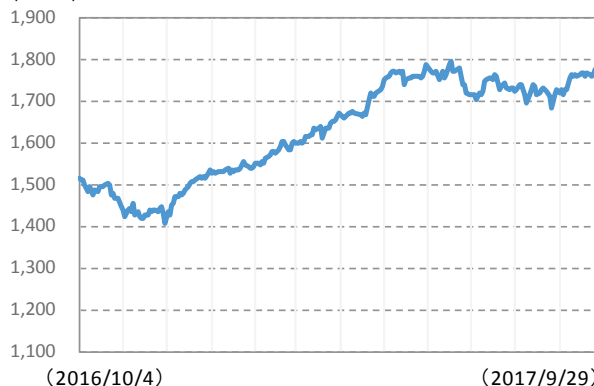
◆通貨別配分



アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース

◆基準価額の推移

(ユーロ)



◆費用明細

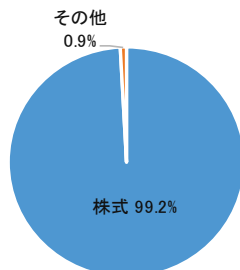
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.45%

◆組入上位 10 銘柄

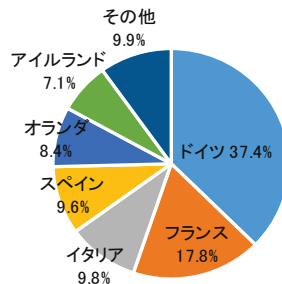
(2017 年 9 月 29 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	SAP SE	ユーロ	ドイツ	6.1%
2	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ユーロ	ドイツ	5.0%
3	ASML HOLDING NV	ユーロ	オランダ	5.0%
4	AMADEUS IT GROUP SA	ユーロ	スペイン	4.5%
5	KINGSPAN GROUP PLC	ユーロ	アイルランド	3.8%
6	BANCA GENERALI SPA	ユーロ	イタリア	3.6%
7	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	ユーロ	フランス	3.4%
8	UNILEVER NV-CVA	ユーロ	イギリス	3.3%
9	UNITED INTERNET AG-REG SHARE	ユーロ	ドイツ	3.1%
10	BAYER AG-REG	ユーロ	ドイツ	3.0%

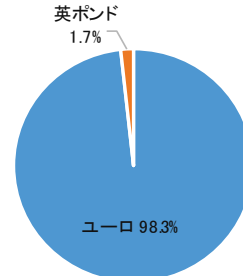
◆資産別配分



◆国別配分

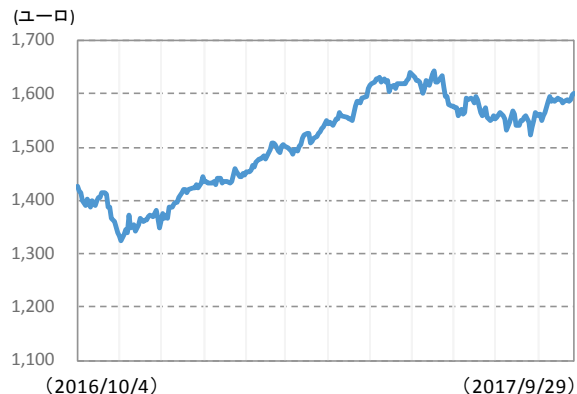


◆通貨別配分



アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

◆基準価額の推移



◆費用明細

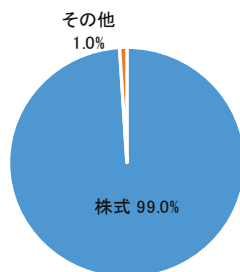
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.45%

◆組入上位 10 銘柄

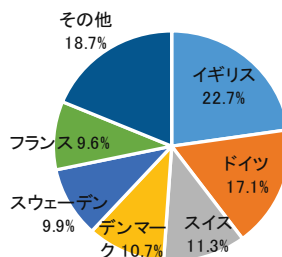
(2017 年 9 月 29 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	SAP SE	ユーロ	ドイツ	7.0%
2	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ユーロ	ドイツ	5.4%
3	PRUDENTIAL PLC	英ポンド	イギリス	4.9%
4	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーククローネ	デンマーク	4.7%
5	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	英ポンド	イギリス	4.4%
6	CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG	スイスフラン	スイス	3.9%
7	DSV A/S	デンマーククローネ	デンマーク	3.8%
8	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	英ポンド	イギリス	3.8%
9	ASML HOLDING NV	ユーロ	オランダ	3.2%
10	AMADEUS IT GROUP SA	ユーロ	スペイン	3.1%

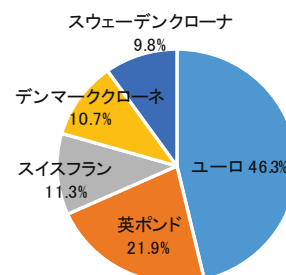
◆資産別配分



◆国別配分



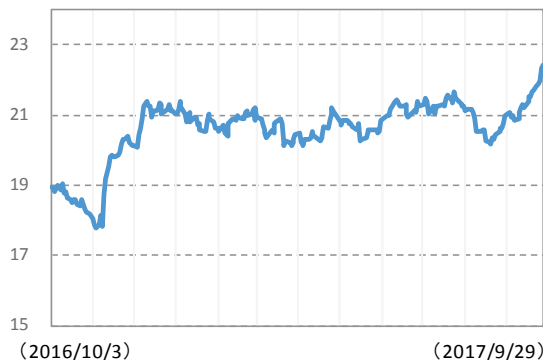
◆通貨別配分



アバディーン・グローバル・ノースアメリカン・スモーカーカンパニーズ・ファンド

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

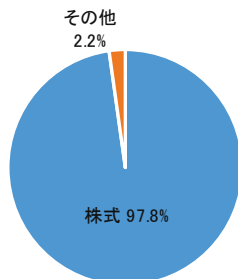
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.75%

◆組入上位 10 銘柄

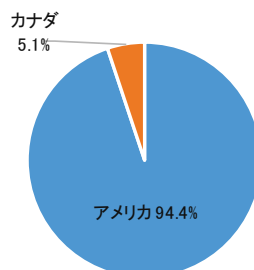
(2017 年 9 月 29 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	BEACON ROOFING SUPPLY	米ドル	アメリカ	3.2%
2	CANADIAN WESTERN BANK	カナダドル	カナダ	2.9%
3	INSIGHT ENTERPRISES	米ドル	アメリカ	2.8%
4	UNIVEST CORP OF PENNSYLVANIA	米ドル	アメリカ	2.6%
5	WSFS FINANCIAL CORP	米ドル	アメリカ	2.6%
6	GIBRALTAR INDST	米ドル	アメリカ	2.6%
7	GLACIER BANCORP	米ドル	アメリカ	2.5%
8	EMERGENT BIOSOLUTIONS	米ドル	アメリカ	2.5%
9	CORE-MARK HLDGS CO	米ドル	アメリカ	2.5%
10	LITTELFUSE	米ドル	アメリカ	2.5%

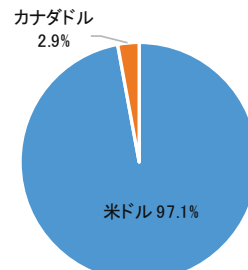
◆資産別配分



◆国別配分



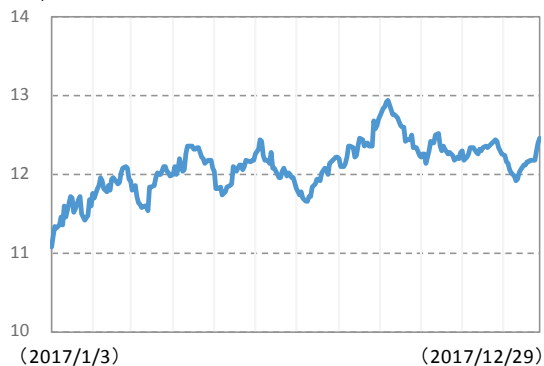
◆通貨別配分



i シェアーズ ゴールド・トラスト

◆基準価額の推移

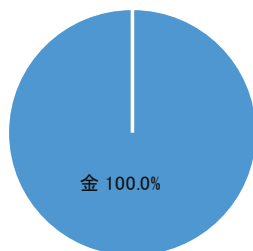
(米ドル)



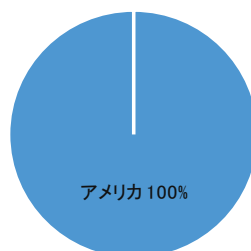
◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.25%

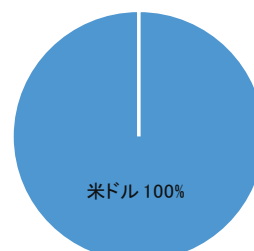
◆資産別配分



◆国別配分

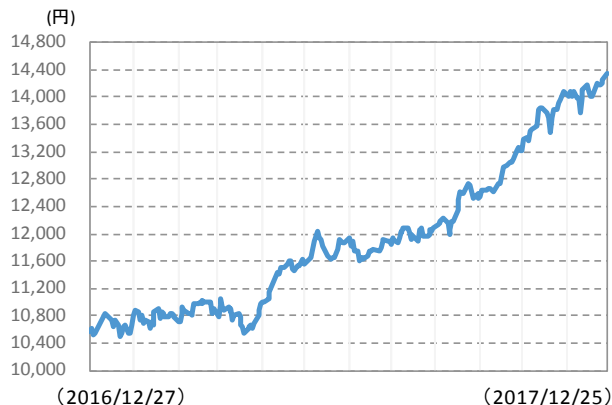


◆通貨別配分



コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

◆基準価額の推移



◆組入ファンド

(2017年12月25日現在)

	組入比率
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.6%
コール・ローン等、その他	0.4%
組入銘柄数	1銘柄

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	11,778円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	99円	0.838%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(63)	(0.539)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(32)	(0.269)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.030)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	15	0.131	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(15)	(0.131)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	3	0.026	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(3)	(0.026)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	117	0.995	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】コムジェスト日本株式マザーファンド

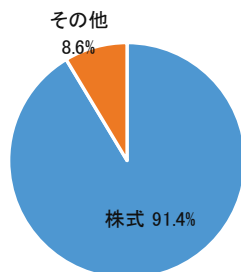
※コムジェスト日本株式ファンドの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

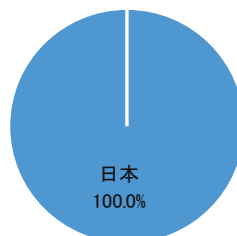
(2017 年 12 月 25 日現在)

	銘柄名	国	業種	投資比率(%)
1	ダイフク	日本	資本財・サービス	4.8%
2	キーエンス	日本	情報技術	4.0%
3	ファナック	日本	資本財・サービス	3.9%
4	日本電産	日本	資本財・サービス	3.8%
5	ポーラ・オルビスホールディングス	日本	生活必需品	3.7%
6	ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	3.5%
7	シスメックス	日本	ヘルスケア	3.5%
8	スズキ	日本	一般消費財・サービス	3.2%
9	日本M&Aセンター	日本	資本財・サービス	2.9%
10	ドンキホーテホールディングス	日本	一般消費財・サービス	2.9%
組入銘柄数				39銘柄

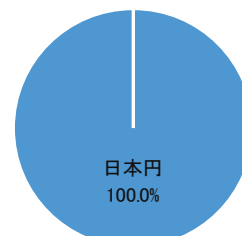
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

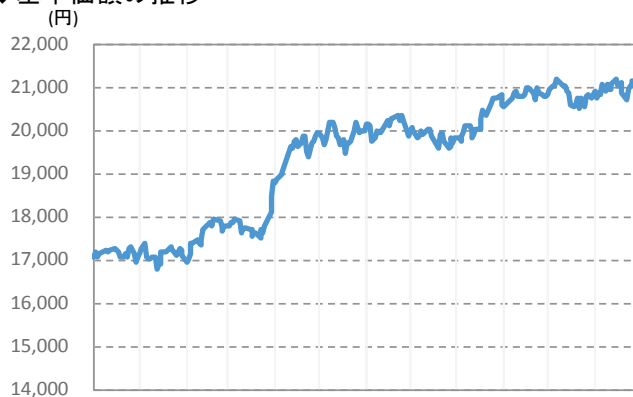


(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国は、コムジェストSAの判断によります。

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドS A（適格機関投資家限定）

◆基準価額の推移



(2016/12/27)

(2017/12/25)

◆組入ファンド

(2017年12月25日現在)

	組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.5%
コール・ローン等、その他	0.5%
組入銘柄数	1 銘柄

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	19,162円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	206円	1.077%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(124)	(0.646)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(62)	(0.323)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(21)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	13	0.067	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(13)	(0.067)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	6	0.029	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(6)	(0.029)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	9	0.049	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(8)	(0.043)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.003)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他1）	(1)	(0.003)	・外国株式に関する各種手数料等
			・マイナス預金利息等
合計	234	1.222	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

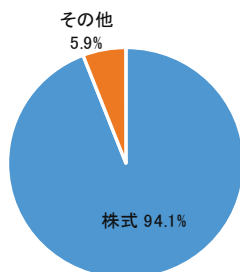
※ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSAの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

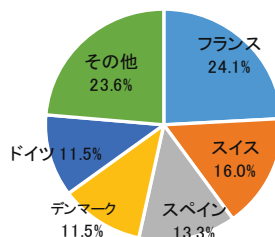
(2017 年 12 月 25 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	INDITEX	EUR	スペイン	7.1%
2	AMADEUS IT GROUP SA	EUR	スペイン	6.2%
3	ESSILOR INTERNATIONAL	EUR	フランス	5.2%
4	COLOPLAST -B	DKK	デンマーク	4.3%
5	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	EUR	フランス	4.0%
6	WIRECARD AG	EUR	ドイツ	3.8%
7	L'OREAL	EUR	フランス	3.7%
8	ASSA ABLOY B ORD	SEK	スウェーデン	3.6%
9	SAP SE	EUR	ドイツ	3.5%
10	ASSOCIATED BRITISH FOODS PLC	GBP	イギリス	3.5%
組入銘柄数				35銘柄

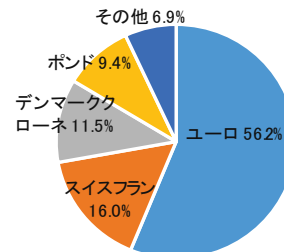
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



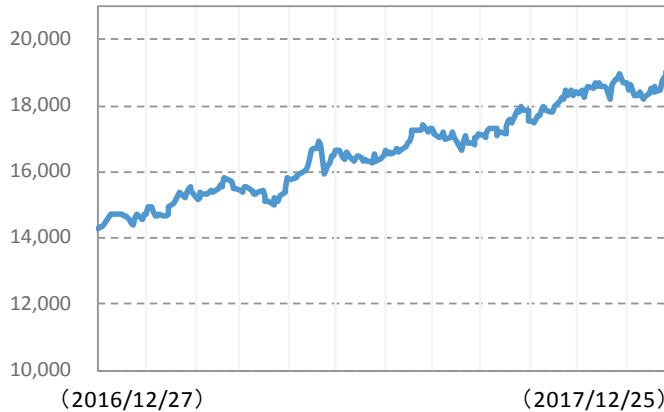
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国は、コムジェストSAの判断によります。

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA（適格機関投資家限定）

◆基準価額の推移

(円)



◆組入ファンド

(2017年12月25日現在)

	組入比率
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	99.5%
コール・ローン等、その他	0.5%
組入銘柄数	1 銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	16,431円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	177円	1.077%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(106)	(0.646)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(53)	(0.323)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(18)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	16	0.100	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(16)	(0.100)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	4	0.022	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(4)	(0.022)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	28	0.167	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(25)	(0.151)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.006)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他1）	(2)	(0.011)	・外国株式に関する各種手数料等（ADR手数料や税務代理人費用等）
			・インド株式におけるキャピタルゲイン課税等
合計	225	1.366	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド

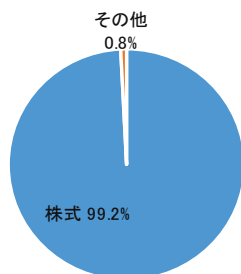
※ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSAの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

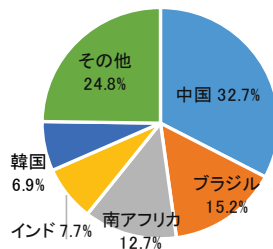
(2017 年 12 月 25 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	USD	台湾	5.2%
2	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	HKD	中国	4.9%
3	NETEASE INC ADR	USD	中国	4.6%
4	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	HKD	中国	4.5%
5	MTN GROUP LTD	ZAR	南アフリカ	3.9%
6	BAIDU INC ADR	USD	中国	3.5%
7	SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	KRW	韓国	3.5%
8	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	INR	インド	3.4%
9	SANLAM LTD	ZAR	南アフリカ	3.3%
10	COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTION A ORD	USD	アメリカ	3.2%
組入銘柄数				43銘柄

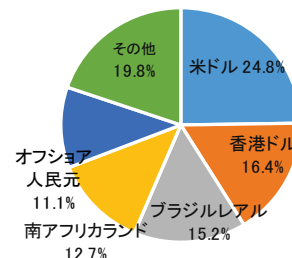
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

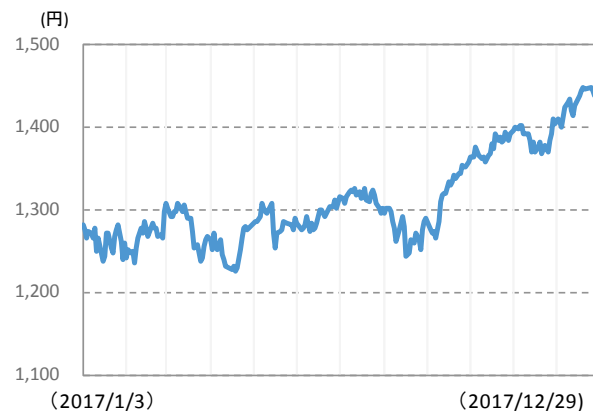


(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国は、コムジェストSAの判断によります。

キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ

◆基準価額の推移



◆費用明細

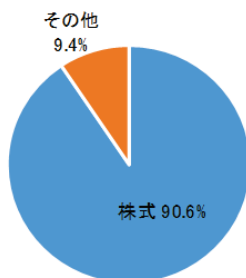
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.65%

◆組入上位 10 銘柄

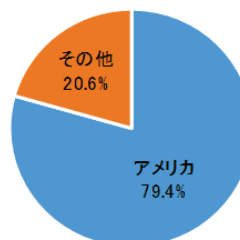
(2017 年 12 月 29 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	AbbVie, Inc.	米ドル	アメリカ	6.0%
2	Verizon Communications, Inc.	米ドル	アメリカ	2.9%
3	Microsoft	米ドル	アメリカ	2.5%
4	Amgen, Inc.	米ドル	アメリカ	2.3%
5	Alphabet, Inc.	米ドル	アメリカ	2.2%
6	Amazon.com, Inc.	米ドル	アメリカ	2.2%
7	Philip Morris International, Inc.	米ドル	アメリカ	1.9%
8	Intel	米ドル	アメリカ	1.8%
9	Wells Fargo	米ドル	アメリカ	1.7%
10	Accenture	米ドル	アメリカ	1.5%

◆資産別配分



◆国別配分



(注1) 通貨別配分については開示されていないため記載しておりません。

直接販売状況

2018年8月31日決算日現在 有効口座数（※）4,780 口座 ※決算日現在残高のないお客様も含みます。

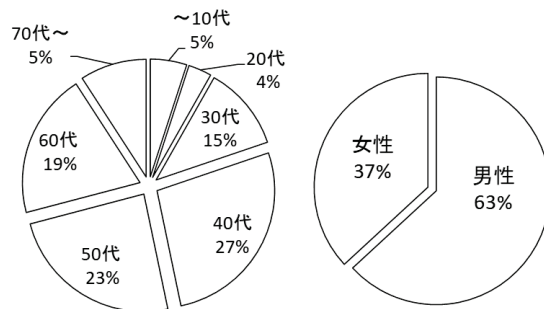
当期末現在で口座数が4,780口座（内法人27口座）となりました。一人当たりの平均保有残高は2,738千円です。当期間の新規口座開設件数は108口座でした。前期に引き続き、「本・新聞等を見て」や「家族・知人の紹介」を口座開設のきっかけとされる方が多くを占めております。一方、口座閉鎖数は49口座となりました。

◆お客様の特徴

年代別では、40代のお客様が27%と最も多く、40代から60代のお客様が全体の約7割となっております。

◆ファンド設定・解約の状況

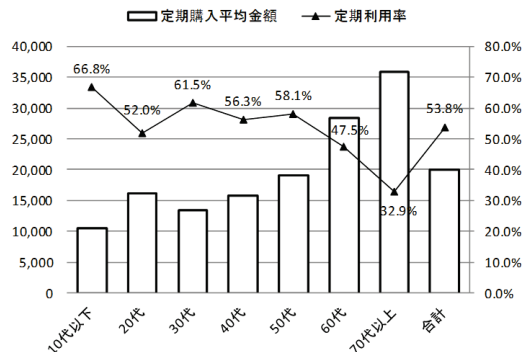
第14期においては、設定金額が756百万円、解約金額が824百万円となり、金額ベースで68百万円の純流出となりました。主な要因としては、昨年後半から今年年初にかけて基準価額が上昇し最高値圏で推移したことによる利益確定の換金が増えたことが上げられます。また、ありがとうファンドの純資産額は、期中平均129億円となりました。



◆定期積立サービス

当サービスをご利用されているお客様の割合は53.8%（分母：有効口座数）。一人当たりの定期購入金額平均は20,005円でした。

長期・国際分散・積立投資は資産形成の王道であります。少額から積立投資を継続することで時間分散によってリスクを抑えながら資産形成ができるので、特にこれから将来に備えていく現役世代の方にご利用をおすすめしております。



◆運用状況を随時お伝えしております。

毎月上旬発行の月次レポートだけでなく、ありがとうファンドの魅力や運用状況をお伝えするセミナーや勉強会を全国で定期的で開催しております。今後も引き続き情報発信を積極的に行って参ります。

